

## 救急医療情報キット部会について

### ● 第1回部会

開催日時：2月22日（水）18:00～

主な議題：

- 部会員自己紹介
  - ※オブザーバー参加：町田消防署 警防課
- キットの現状と課題について
- 各委員より、キットの課題について意見出し（抜粋）
  - ◇ キット内の情報の更新が難しい。シートの内容をできるだけ簡素化できれば。
  - ◇ 病院でも、救急隊からキットを使って引き継ぎを受けたことがない。認知度が低いのでは。
  - ◇ 配ってもシートを記載していない人、記載できない人が多かったのではないか。
  - ◇ 救急隊は搬送時に、何科の病院に連絡するかというところから始める。シートは情報入手の最初の手がかりとなる。今後は独居の方が増えると予想されるため、キットがあると良い。
  - ◇ 救急隊がキットの情報を使う際は、個人情報紛失の恐れがあるためシートの内容をメモに移す対応を取っている。

### ● 第2回部会

開催日時：4月26日（水）18:00～（オンライン開催）

主な議題：

- 町プロ連携ツールアンケートの結果共有
- 消防署救急隊からキットの活用実態について
  - <困ったこと・問題点>
    - ・情報更新の頻度。記載されたのが5～6年前だと情報に信ぴょう性があるのかどうかわからず、家族に電話して聞くことになる。
    - ・高齢者支援センターが配布しているあんしんキーホルダーも役に立っているが、登録内容がキットと異なっている場合がある。
- 今後、改定版キットを作成するにあたっての課題抽出
  - ◇ シートの項目
    - ・DNAR や ACP の情報を入れた方が、搬送先を決定するうえで参考になるが、情報の信頼性が重要なため、定期的な更新が必要になる。
    - ・最低限必要な情報のほうがいいのでは。情報が多すぎると更新されているのか、されていないのかわからない。

- ◇ シートの情報の更新方法
  - ・更新のタイミングのお知らせは有効だが、高齢者への伝え方を考える必要がある。
  - ・関心を持っている人は多いため、65歳くらいから誕生日ごとや「更新しましょう月間」のような形で更新することを習慣化させては。
- ◇ キットの形態
  - ・冷蔵庫の中に入れるとすると、筒状は目立っていい。
  - ・高齢者だけで更新するのは難しいが、キットを作った当時から、ICTを活用するとよいのではという意見が出ていた。電子データの利用も検討する必要がある。
- ◇ 配布対象者
  - ・現在は、75歳以上が原則だが、65歳からでもよいのではないか。また、プラスして、希望する市民に渡してもいいのではないか。
- ◇ 配布方法
  - ・市の防災課の窓口にお問い合わせに来る方が多い。市の窓口で配布するのもいいのでは。

次回部会：2023年6月21日（水）18:00～（オンライン開催）

● 今後のスケジュール（暫定）

2023年											
2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
第1回部会		第2回		 2023年6月～2024年2月 1ヵ月～2ヵ月に1回開催  キットの内容及び運用の検討 ・配布対象者の検討 ・キットの形態の検討 ・情報の更新方法の検討 ・配布方法の検討 等							
・顔合わせ ・現状共有		・活用実態の確認 ・課題抽出									

2024年		
1月	2月	3月
		最終回
		・改訂版キットの作成について確認